

みんなで力を合わせ、暮らしと政治を変えましょう

井上 けんじ

日本共産党 京都市議員

井上けんじ

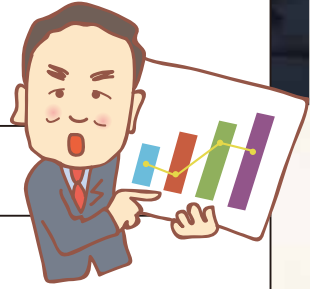
2月
市会報告

メール shikai@inoue-kenji.jp

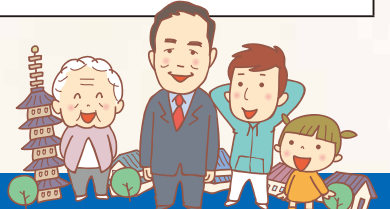


今年度予算・方針についての、市長の言い分と井上けんじ市会議員の反論・考え・対案を紹介します。

市長の言い分	井上市議の反論・考え、対案・提案
財政危機だ。だから行財政改革だ 消防職員など職員数を減らす 福祉を含む経費の見直し	本来、税金を集めたり使ったりする権限を持っている市長が、何の責任もない市民に対して「危機」を言うのは筋違い。言い訳か口実にすぎない。「危機」の責任を求めるなら政府に対してこそ。改革ではなく改悪。職員や市民へのしわ寄せ。
JR梅小路新駅の設置	設置費用49億円のうち市が30億円負担(うち15億円は国)。JRは19億円の負担のみ。
川端通りや堀川・油小路通りの東海道本線ガード部分の拡幅	アベ流財政出動の大型公共事業のムダづかい。難工事は必至。車の増加に道路拡幅ではなく、歩くまち=車を減らす政策を。御前通りこそ、東海道本線のガードの拡幅を。
市の土地の売却	目先のお金は一時だけのこと。集会所建設などに活用を。
中小企業の成長が新たな消費に結びつく経済の好循環を。成長戦略を強力に推進。企業誘致を推進	供給一辺倒ではなく、需要拡大・市民の消費購買力向上策がないと、過剰生産になるだけではないか。企業誘致も、その対象は多くが大企業。
北陸新幹線の京都駅誘致	最初から誘致ありきではなく、断念の可能性も含めて、市の財政負担や、市内のどこを通るのか、京都駅をどこにつくるのか等の検討が先決。
 特別養護老人ホームの入所資格を要介護3以上に限定したので、待機者数が減った	施設を増設しないで対象を限定し、見かけの待機者数を減らすなど言語道断。要介護1・2の人でも待っておられる方は多い。
国民健康保険は「助け合い」	社会保障は国と自治体の責務。命と健康を守るのは政治の責任。
生活保護の不正受給は許さない	ほんの一部のことを強調する前に、もっと生活困難な市民の声を聞くべき。庶民を分断しバッシングを助長するようなことを市長が言うべきでない。
京都駅東南部地域の活性化	誰にとっての活性化か。すでに都市計画の規制緩和で、大きいビルを誘導。
市民や中小零細企業全ての方々に景気回復が実感できるところには至っていない	結局、事実は事実として認めないわけにはいかない。
国の社会保障と税の一体改革により、一般財源収入の増加を図る 消費税は社会保障財源のために必要	「一体改革」は、消費税増税と社会保障切り捨ての一体化。消費税の一部が自治体の収入にもなることを当て込んでいるが、消費税自体が庶民に重い最悪の不公平・福祉に反する税制。ケタちがいの大企業減税をやめれば財源はある。
一般財源収入総額は減少 法人市民税の減収が見込まれる 地方交付税交付金も削減されてきた 市民一人当たりの市税収入が少ない	法人税減税や、法人市民税の一部国税化、国から自治体へ来る地方交付税交付金減額などの政府の方針が市の「財政危機」の要因なのに、「国も財政が大変」などといって追従。個人市民税は少ない訳ではなく、中小企業が多いなどのため法人市民税が少ないだけ。「国の財政が大変」なのは、大企業減税と軍事費拡大が要因。
中長期的に原発に依存しない社会をめざす	いつまでにと目標時期を決め、そこに向かって努力するのが政策の基本。
ゴミ袋代金を環境政策に充てる 	ゴミ袋製造等の原価7億円なのに、市民が払っているゴミ袋代は18億円。その差11億円を市は「環境政策費」等に充てているが、これは本来一般の税金で賄うべきもの。せめてゴミ袋代は値下げすべき。



●その他、井上けんじは、子どもの貧困の克服、学校でのイジメや暴力問題、後期高齢者医療、京都駅八条口整備、JR西大路駅のバリアフリー化など、市民の皆さんの声を議会に反映させ、要求の実現をめざしています。



どんなお困りごとでもお寄せください
井上けんじ携帯電話090-7880-9442



南地区委員会

電話371-9164

自宅

691-3323